

学術情報センターだより

Library and Information Technology Center Nagoya Women's University

ことばのインプット・アウトプット

服部 幹雄（児童教育学部長）

大学生活ではレポートや小論文を書いたり、口頭でプレゼンテーションを行ったりする機会も多いと思います。自分の発信するメッセージを受け手に分かりやすく確実に伝えるにはどうしたらよいのでしょうか。自分の思いを言語化するのに苦労している皆さんも多いのではないかと推察します。

何度も書いて推敲する練習を積み重ねること、文章作成の指南書を読んでコツを会得すること、これらの方法に一定の効用が期待できることは言うまでもありません。しかし、一つ重要なことが忘れられています。まず言語を多くインプット（入力）しなければアウトプット（出力）することはできないという厳然たる事実です。母語である日本語でも外国語でも多量の文章を読む経験を通して、それが内在化され、言い換えれば脳の中に取り込まれ、書く能力として顕在化していきます。多く読む経験を経なければ発表能力は頭打ちとなってしまいます。

それでは、ひたすらインプットをしていれば自然に発表能力は伸びていくのでしょうか。実は単なる読み流しではあまり効果がないことが分かっています。聞いたり読んだりしたものを定着させる過程が必要だからです。たとえば、古典的方法ですが、意味をかみしめながら音読することはインプットを脳内に定着させるのに極めて有効な方法です。読んだ内容を人に伝えることも内在化を促します。

とにかく文章表現力を短期間で伸ばしたいという人には、自分のレベルよりやや難しいもの

を集中的に読むことをお勧めします。これも言語習得の理論にかなった方法です。多く読むうちに表現が頭の中でエコーし、手がうずうずするようになったらしめたものです。インプットがアウトプットに転化しつつある証拠だからです。

読むことに慣れてきたらアウトプットの目的に合わせて読む素材を変えてみることを試みてください。アウトプットの目的が専門分野の論文であれば、それにふさわしい語彙や文体で書かれたもので自分の興味関心に合った論文調の文章に多く触れるようにします。専門分野のレポートを書くための文章力向上が目的なら、その分野の標準的な教科書を読むことをお勧めします。授業で指定されている教科書以外のものも何冊か読むことで、あやふやだった語彙や表現がいつの間にか確かなものになっていることに気づくでしょう。子ども向けの童話を書いてみたいのであれば、定番の優れた童話を多く読むのが近道です。なお、表現を確実に定着させたい人は、手間はかかりますが、音読に加え気に入った表現を書き写すことも効果を上げます。

情報化社会の到来によって「書き言葉」で情報発信する力が以前にも増して求められています。書物の宝庫である本学図書館の中を巡って、自己発信のモデルとなる資料を探してみてください。良質の文章に多く触れることで表現力が高まるとともに、視野が広がり、自分の内面も磨かれる、そのような贅沢な読書体験を味わっていただくことを願っています。

◎ 目次 ◎

巻頭言	p. 1
令和5年度 学術情報センター利用者アンケート結果報告	p. 2
新LMSを導入！WebClassについて	p. 4
はぐくむ図書館学生主体活動 絵本おはなし会活動紹介	p. 4
令和5年度 大学図書館利用状況報告	p. 5
おしらせ	p. 5

令和5年度 学術情報センター利用者アンケート結果報告

学術情報センター施設利用者のニーズを把握するため、学生ポータルCampusmateを活用した利用者アンケートを毎年実施しています。令和5年度は新サービスについての項目を追加しました。

以下、アンケート結果を報告します。

利用者アンケート実施要領

- ・実施期間：令和5年12月11日(月)～26日(火)
- ・実施方法：学生ポータルサイト(Campusmate)
- ・回答数：461名(回答率23.9%)



アンケート回答

回答者内訳

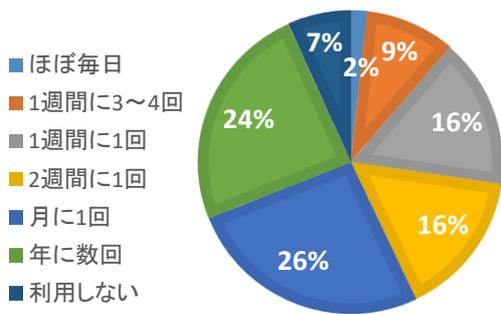
学科	回答者数	構成比
健康栄養学科	106人	23%
看護学科	67人	15%
生活環境学科	88人	19%
理学療法学科	25人	5%
作業療法学科	12人	3%
児童教育学科	66人	14%
生活学科	29人	6%
保育学科(第一部)	18人	4%
保育学科(第三部)	50人	11%
合計	461人	100%

学年	回答者数	構成比
1年	178人	39%
2年	141人	31%
3年	101人	22%
4年	41人	9%
合計	461人	100%

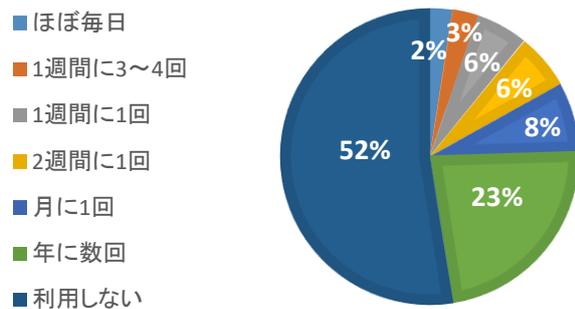


利用頻度と目的

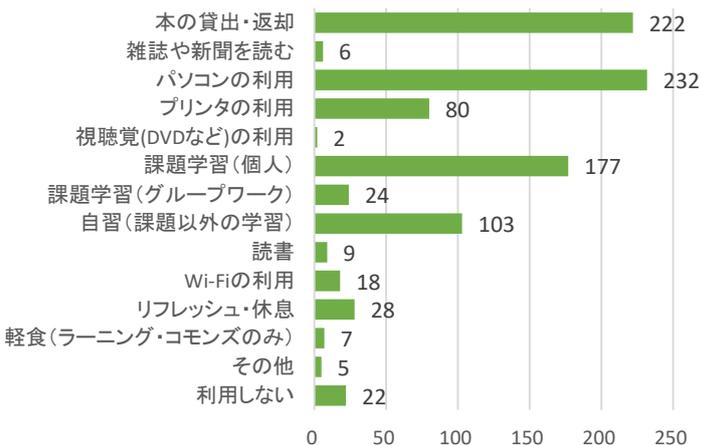
図書館の利用頻度



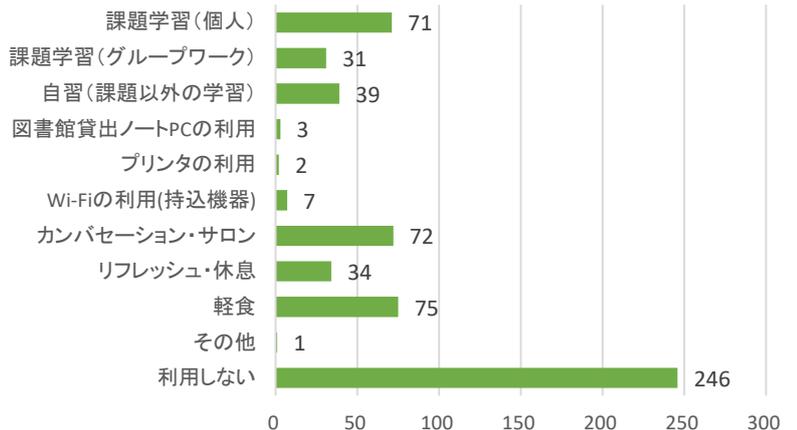
西館ラーニング・commonsの利用頻度



図書館の利用目的 (複数選択可)



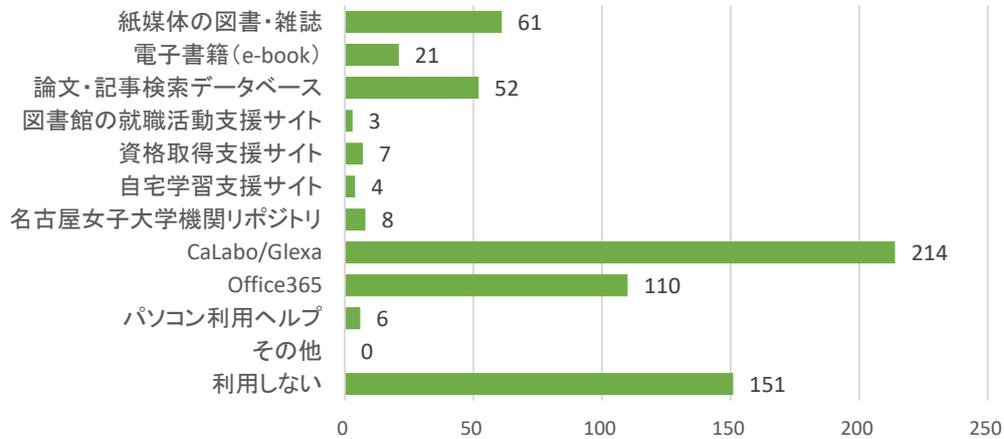
西館ラーニング・commonsの利用目的 (複数選択可)



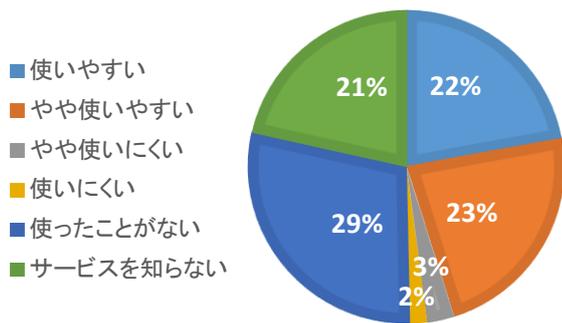
令和5年度 学術情報センター利用者アンケート結果報告

学習支援について

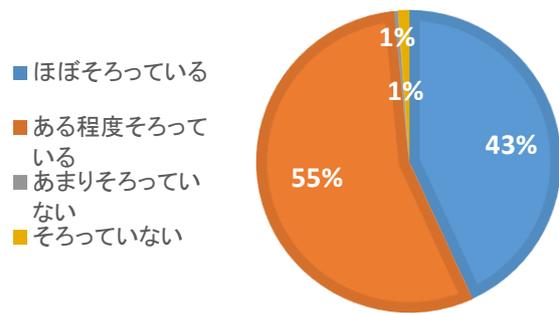
学術情報センターの資料・コンテンツでよく使用するものは何ですか？（複数選択可）



“OpenAthens”は使いやすいですか？

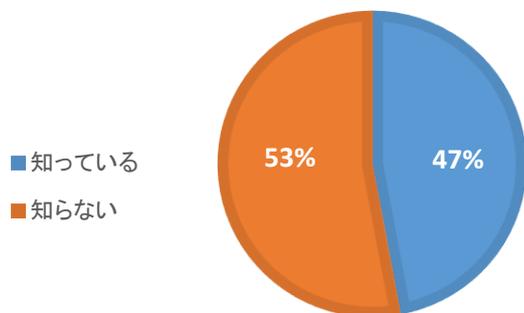


図書館に利用したい資料はそろっていますか？

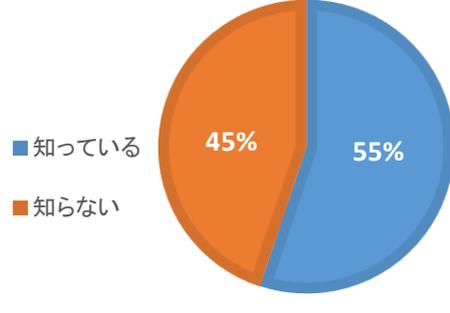


飲食について

ラーニング・コモンズでの食事が可能な時間が制限されていることを知っていますか？



ラーニング・コモンズで可能な食事は軽食に限られていることを知っていますか？



*図書館ラーニング・コモンズ：12:00～13:00、18:00～閉館時間
*西館ラーニング・コモンズ：12:00～13:00

*軽食：パン・おにぎり・弁当のみ（汁物・匂いのあるものは不可）

まとめ

学習や研究のための本・雑誌についてはほぼ満足していただいていることが確認できました。マイライブラリの購入希望から本のリクエストができるので、必要に応じて申し込んでください。
令和4年度より導入したOpenAthensは、利用経験者については使いこなせているようですが、普及率に課題があります。図書館の利用指導などを通して利用促進を図っていきます。また、ラーニング・コモンズでは飲食可能な条件が設けられています。マナーを守って利用してください。

新LMSを導入! WebClassについて

令和6年度より、LMSシステム（学習管理システム）が新しく『WebClass』になり、新機能も充実しています。履修登録した科目は自動的にWebClassに反映され、ログイン後の画面で時間割表に表示されます。

WebClassの使い方

学術情報センターWebサイトの「WebClass」のバナーからアクセスできます。



できること

- 教材機能（課題提出、テスト、資料の確認など）
- 予習時間・復習時間の入力
- 教職履修カルテ、学修ポートフォリオの入力
- メッセージ、お知らせ機能

★「アカウント情報の変更」で普段使っているメールアドレスを設定しておきましょう(右図)。先生からの連絡や通知を転送できます。

—はぐくむ図書館 学生主体活動— 絵本おはなし会活動紹介

絵本おはなし会の一年間

大学図書館では、学生主体の『絵本おはなし会』を毎月1回開催しています。昨年度の活動の報告と今年度の予定を紹介します。

令和5年度活動報告

・大学図書館での絵本おはなし会再開!



初回は大盛況!最後の個別読みタイムはみんなに人気の時間です。

絵本の選び方・読み方だけでなく、紙芝居やペープサート、簡単な工作なども教えていただきました。

Student's Voice

おススメの本や読んでおいた方がよい本などを知ることができて、とても良い研修でした。

・絵本おはなし会研修会



・音でつづるクリスマス～おはなしとハンドベルのつどい～
名古屋女子大学ハンドベルクラウンツの皆さんと共演しました♪



令和6年度活動予定

- 4月
- 5月
- 6月
- 7月
- 8月
- 9月
- 10月
- 11月
- 12月
- 1月
- 2月
- 3月

・新入生歓迎会



・映画『帆花』上映会・講演会
・絵本おはなし会研修会

・大学祭参加予定

・クリスマス会開催予定

毎月のおはなし会の様子



子どもも大人も熱心に聴いてくれます。

令和5年度 大学図書館 利用状況の報告

学術情報センター 大学図書館の令和5年度 利用統計を報告します。



入館者数・開館日数

年度	入館者数	開館日数	1日あたりの入館者数
R.5年度	80,915人	286日	283人
R.4年度	95,195人	281日	339人
R.3年度	105,757人	278日	380人

貸出・利用冊数

年度	利用冊数計	1人あたりの利用冊数
R.5年度	19,775冊	10.1冊
R.4年度	26,560冊	12.5冊
R.3年度	29,006冊	12.3冊

電子リソース利用件数

(文献閲覧回数)

年度	電子ジャーナル	電子ジャーナル (パッケージ)	電子書籍	データベース	利用件数計
R.5年度	1,582件	324件	2,128件	41,114件	45,148件
R.4年度	1,738件	1,108件	1,912件	39,454件	44,212件
R.3年度	617件	804件	2,937件	35,555件	39,913件

令和5年度は入館者、資料利用のいずれも在籍学生数減少に伴い減少が見られました。一方で電子リソースの利用件数では増加が見られるなど、来館型とリモートアクセスを使い分けている利用の実態がうかがえます。これからも学修形態や利用動向に応じた資料の提供と環境整備を進めていきます。

お知らせ

愛知県立瑞陵高校食物科との連携について

名古屋女子大学と愛知県立瑞陵高校食物科は高大連携協定を締結しました。それに伴い、当校生徒と教員の皆さんにも大学図書館の施設とサービスを供用しています。今年度は生徒向けの図書館の見学案内や情報検索講習なども実施しています。

食と栄養分野での高大連携を目指し、学びを深め合える環境づくりに努めていきます。



▲瑞陵高校食物科3年生対象図書館講習のようす(5月)

令和6年度 図書館・学生インターンシップ

今年度は新たに5名のインターン生を迎え、13名で就業をスタートした「図書館・学生インターンシップ」。

先輩から後輩へOJTを行いながら、図書館の業務を推進しています。今後は課題解決型業務にも意欲的に取り組んでいきます！

はみがしコラム 学術情報センターの防災対策

図書館で地震！そのときあなたはどのように？日頃から次のことをチェックしておきましょう。

▶館内の各所に避難経路ポスターが掲示されています。非常口と避難場所を確認しましょう。

▶救急用・防災用の備品も用意しています。館内のどこに何があるか確認しておいてください。



▲図書館2F 南開架：折りたたみ式ヘルメット 拡声器 フライト



図書館1Fと2Fに緊急時の救急箱も備えています。

名古屋女子大学 学術情報センターだより 82号

発行日：令和6年6月10日 発行：名古屋女子大学学術情報センター
学術情報センターWebサイト <https://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

〒467-8610 名古屋市瑞穂区汐路町3-40
TEL：図書館(052)852-9768 システムサービス(052)852-1120